

審 議 会 会 議 録

| | | | |
|---------------------|--|----------------|----|
| 会議名称 | 平成28年度 第4回伊達市立図書館運営協力会 | | |
| 議 題 | (1)伊達市立図書館あり方検討委員会の進捗状況について (報告) (2)図書館運営に関する提言について (3)その他 | | |
| 開催日時 | 平成28年12月16日 (金) 14時00分～14時40分 | | |
| 場 所 | 伊達市立図書館 2階 視聴覚室 | | |
| 出席者 | 伊達市立図書館運営協力会委員 9名 (欠席者1名) 事務局 (伊達市教育委員会教育部図書館) | | |
| | 所管部課名 | 伊達市教育委員会教育部図書館 | |
| 公開 非公開 の 別 | <input checked="" type="checkbox"/> 公開 | 傍聴者の人数 | 0名 |
| | <input type="checkbox"/> 非公開 | 非公開の理由 | |

【会議の概要】

1. 開会
2. 議事

(1)伊達市立図書館あり方検討委員会の進捗状況について (報告)

【会長、委員より報告】

会 長～第4回目の会議が11月30日に開催された。提言書のたたき台が示され、内容について意見交換が行われた。市立図書館に求められる機能が、必要な情報を容易に得られる図書館、市民の居場所となる図書館、本と人を結ぶ図書館の3つにまとめられており、さらにそれぞれについて、ハードとソフトに分けて具体的な内容が述べられている。

今までの運営協力会の提言もかなり反映された内容である。

次回は1月25日に開催され、今回会議での意見を元に修正された最終案が示される予定である。

委 員～内容については、具体的に詳細な意見を述べるのではなく、静かに読書ができる空間が必要、子ども達を連れてきても活用できるような空間が必要といった大きく括った表現でまとめている。第4回会議で文言等の整理が終わったので、第5回会議で最終案を示して承認していただく予定である。

会 長～議事 (1) については以上でよろしいか。

全 員～よし。

(2)図書館運営に関する提言について

【質疑・意見交換】

会 長～我々の2年間の任期の中で、平成27年度は口頭で教育長に提言をし、平成28年度は2年間の内容をまとめて提言書として提出する事になる。提言書の内容については、提言事項として増改築計画の具現化の推進について、開館時間延長の再試行について、読書感想文・画事業の活性化について、レファレンス対応について、サービス向上・事業充実のための職員数増についての5項目にまとめ、図書館運営に関する事とは別に学校司書の配置についても意見を述べるという事で考えているが、付け加える意見等はあるか。

委員～子どもの読書活動推進計画が平成27年度に作成され、さっそく今年度からマタニティ教室でのおすすめ絵本リストの配布や読書通帳の配布等が行われているが、今後も引き続き更なる計画の推進に取り組んでいただきたいという事を入れてはどうか。

会長～項目として新たに起こすのか、最後のまとめに入れた方が良いのか検討する。

委員～市立図書館と学校図書館の連携強化についてもどこかで触れるべき。連携強化の為に学校司書の配置が必要であるという意見につながる。また、読書感想文・画事業の活性化においても学校との連携が重要になるし、子どもの読書活動推進計画の具現化にも絡んでくる。その辺を上手く絡めて表現していただきたい。

委員～昨年の口頭での提言では、恵庭市の取り組みが非常に参考になるので、伊達市でも是非学校に司書を配置して図書館と連携が取れるようにしてほしいと伝えた。本からの知識が全てではないが、人材育成や情報を発信する事が図書館を始め、市内の公共施設の役割だと思う。それらを有効に使うためには各施設での職員の関わり方が重要。みんな一生懸命やっているが、人が足りていない。その辺を市長、教育長がどのように考えているのかしっかりと確認し、意見を伝える事が必要。

また、我々だけでなく館長からも伝えてもらうことが必要だと思う。

事務局～提言書提出の際にということか。

委員～その場ではなく、常に教育委員会や議会等の場で伝えていくことが必要だということ。

会長～過去の提言書も参考にしながら上手く表現できるよう検討する。市民のために図書館行政を重視していただくよう提言したい。

委員～平成27年度に提言した事項のその後の対応はどうなっているのか。

委員～前回会議での配布資料に過去からの提言の実施・未実施について記載されている。

委員～未実施についての進捗状況はどうなっているのか。

会長～平成27年度の提言で未実施なのは開館時間延長の再試行と学校司書の配置についてで、開館時間延長については職員数も少なく費用対効果の問題で難しいと前回会議でも報告を受けている。学校司書については今回の提言で伝え方を変えるということになった。財政面で実現が難しいという事もあるのだろうが、今回の図書館あり方検討委員会の設置は大きな一歩だと思う。

委員～提言して実現したものや、子どもの読書活動推進計画策定により実施している事業等、図書館が取り組みを進めて成果が上がっていることについても記載したら良いのではないか。

委員～色々と項目があるが、増改築計画の具現化の推進については是非強調して伝えていただきたい。

会長～色々な課題があるが、その多くは増改築によって解消されるという事を強調したい。

委員～それに加えて、職員の数の問題が解決すればハードもソフトも全ての課題が解決さ

れる。

委員～図書館あり方検討委員会からの提言の中でも、色々な課題を解決するためには増改築が求められるという事をまとめの中に記載する。色々な組織からそういった内容の提言があれば実現に向けて進むのではないか。

委員～札幌の白石区に図書館が入った複合施設ができた。伊達の市役所前にできた市民活動センターを見るたびに、図書館を入れられなかったのかと残念に思う。

会長～今日の話を含めて、副会長、事務局と内容を整理し提言書を作成して皆さんにお示してから、教育長に提出する。実現できるかどうかは別として、しっかりと提言をしていきたい。

(3) その他

事務局～読書通帳について、11月11日開催の校長会で内容等について説明し、ポスターと読書通帳の掲示を依頼した。また、今月14日に100冊達成者第1号の方が来館した。今年の春以降に子どもに読み聞かせをした本の内容や子どもの様子などが書かれており、本を通しての育児日記のように使用されていた。大人にも好評で既に500冊ほど配布している。

次に委員の任期について、来年の8月28日までとなっている。突発的な開催を除くと今回が最後となる、これまで提言のためにご協議いただき感謝する。

委員～読書通帳の活用の仕方や実態について、活用例などをどこかで紹介できないだろうか。今回の達成者の例だと、読み聞かせをすることによって子どものこういった様子が見られるということが分かる。色々な使い方が広まっていけば良いと思う。

3. 閉会